



社協イメージキャラクター  
「ランティ」

春日市社会福祉協議会

# しあわせ

令和5年  
No.271  
2月

この広報紙「しあわせ」は、共同募金の配分金で作られたものです。

じぶんのまちをよくするしくみ

春を祝う。50th

白水小学校4年生  
ボランティアグループ「ゆりかもめアイの会」  
による点字体験



大谷小学校4年生  
調べよう!ボランティア

春日東小学校4年生  
障がいのある方との交流



## ふだんのくらしのしあわせ

地域でともに生きる



日の出小学校4年生  
春日きこえの支援サークル  
「でんでん虫」による筆談体験



春日西小学校5年生  
筆談体験(声を出さずに筆談だけで  
コミュニケーションをとっています)



春日原小学校4年生  
車いす体験

福祉教育は、子どもたちの健全な育成を進めるとともに、地域住民の学びを通じて地域福祉の推進を図る、地域に暮らす全世代を対象とした取り組みです。  
福祉はその単語の頭文字をとって「ふだんのくらしのしあわせ」と紹介されることがあります。福祉教育は「ふだんのくらしのしあわせ」をつくるための学びです。地域に暮らす障がいのある人や高齢者、さまざまな人と関わり、学ぶことを通じて多様な生き方にふれ、命の大切さや思いやりの心、相手を理解しようとする豊かな心を育むことにつながります。  
社会福祉協議会では、春日市内の小中学校で福祉教育のお手伝いをしています。障がいのある方やボランティアグループの協力をいただきながら、今年度も多くの小中学校で取り組まれました。体験後の子どもたちの感想については次のページをご覧ください。

今月号の内容

- お知らせ ● 生活支援サポーター養成講座 ● ひきこもりセミナー ● 介護を考える介護者のつどい ● ふれあいポッチャ など
- ご報告 ● 「大人の発達障がい」講演会 ● 生活支援コーディネーターの活動 など

新型コロナウイルスの感染拡大状況によってイベント等が中止、変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

地域で頑張ってる人にインタビュー

### かすかの車窓から 第62回

春日市を拠点として子育て・子育ての支援を行っている「NPO法人 子育てネットワーク春日」は、子育て支援事業としておもちゃ病院を開院されています。おもちゃ病院のおもちゃドクターは、おもちゃ病院エフネットグループのボランティアの方が診察・修理されています。月に1回の開院日にはたくさんの患者さんが集まり、とっても人気の病院です!

#### ボランティアを始めたきっかけは?

もともと、おもちゃや機械をいじるのが好きで、近所の子どもたちのおもちゃを修理してあげていました。あるとき、福祉の情報紙におもちゃ病院の講習会が載っていて、それを受講したのがきっかけです。専門の仕事をしていただけではなく、まったくの独学です。(春日支部代表・月川さん)

壊れたおもちゃを直します!



12月はサンタさんのおもちゃ病院

#### おもちゃ病院春日

プロフィール



おもちゃドクターの皆さん

#### “おもちゃ病院エフネットグループ”って?

福岡市やその周辺の地域で活動するボランティアおもちゃドクターのグループです。パソコン関連会社を退職された太宰府市の方が中心となり、平成11年に「おもちゃ病院 太宰府」が誕生しました。その後、開催された「おもちゃドクター養成講座」にいろいろな地域から参加された受講生の活躍の場として、おもちゃ病院の増設を検討。春日市では平成15年に開院、福岡県内では現在12カ所で開院しています。詳しくはこちらへ → <http://omotyafnet.fun/>

#### 活動する中での喜び

子どもたちが喜んでくれるのが1番ですね!あとは自分たちの頭の体操にもなっています。1つのおもちゃを修理するのに1週間くらいかかります。おもちゃを分解して「あーでもない、こーでもない」と考えたり、ネットで修理の実例を調べたり。失敗してまたやり直しの繰り返しで、経験を積み重ねていくのが、それがまた生きがいにもなっています。



開院日 毎月第3月曜日 《受付》午前10時～11時30分  
 場所 社会福祉センター3階中会議室(昇町3-101)  
 初診料 おもちゃ1個につき100円  
 ※部品代は実費ですが、500円以上必要な場合はご相談します。  
 おもちゃは入院(お預かり)となり、約1ヵ月後のお渡しとなります。  
 お問い合わせ先 NPO法人 子育てネットワーク春日 事務局  
 担当:野崎 ☎090-7390-0890

## 地域の輪!はじめての方もぜひ! ふれあいポッチャ

障がいがあってもなくても、年齢・性別を問わず誰でも楽しめるのがニュースポーツのいいところ!頭と体を使って一緒に楽しみましょう!!

参加無料

- 日時 3月5日(日) 午前10時～午後0時30分(受付:9時30分～)
- 場所 春日東中学校 いずみホール(若葉台東1-51-41)
- 定員 30名(定員になり次第締め切ります)
- お申し込み 事前の申し込みが必要です。2月28日(火)までに電話かFAX、メールで、住所、氏名、参加人数、参加者の年代、電話番号を伝えてください。配慮してほしいことがあれば伝えてください。
- お問い合わせ先 春日市社会福祉協議会 福祉推進課 地域福祉担当 ☎581-7225 FAX581-7258 ✉chiiki@kasuga-shakyo.or.jp

ポッチャとは?  
 ポッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。  
 ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



去年の様子  
いろいろな年齢層の方がいてみんなで盛り上がりました!



初対面でも楽しくチームを組んで、一緒に協力しながら白熱しました!

福祉のこと、困ったこと、お気軽にお問い合わせください

春日市社会福祉協議会 ☎581-7225 FAX 581-7258	福祉あんしんセンター ☎581-7225 FAX 581-7258
かすがボランティアセンター ☎501-1136 FAX 581-7258	くらしサポート「よりそい」 ☎515-2098 FAX 581-7258
春日市権利擁護総合相談窓口 ☎201-8977	春日市社協ホームヘルパーステーション ☎588-4117 FAX 588-4118
老人福祉センター「ナギの木苑」 ☎595-0513 FAX 595-6800 春日市見ヶ丘1-7-1	

社会福祉法人 春日市社会福祉協議会・福岡県共同募金会春日市支会  
 〒816-0851 福岡県春日市昇町3丁目101番地 ☎(092)581-7225 FAX(092)581-7258  
 (Eメール) [fukushi@kasuga-shakyo.or.jp](mailto:fukushi@kasuga-shakyo.or.jp) (ホームページ) <https://www.kasuga-shakyo.or.jp>

福祉会員募集中!!  
1口:1,200円



★ **福祉教育** ~子どもたちの感想~ ★



いろいろな体験や交流を通じて、福祉を学ぶきっかけとなりました。  
地域に暮らすさまざまな人と関わり、学ぶことで、「ともに生きる力」を育みます

**参加無料!** **生活支援サポーター養成講座**

~お互い様の助け合い・支え合いの活動~

既存の制度を利用するだけでは生活することが大変な一人暮らしの高齢者や障がいのある方、頼る人がいない子育て世帯などの日常的な困りごとを、地域住民がボランティアとしてサポートする生活支援サポーター養成講座を行います。

お互い様の助け合い・支え合いの活動を通して、住みよい地域を目指すことに関心のある方は生活支援サポーターとして活躍してみませんか?

**日時** 1日目… **2月20日(月)** 午前10時～午後3時30分

講義「住民同士だからできること」  
「高齢者・認知症高齢者の基礎知識・関わる時のマナー」  
※昼食は各自でご準備ください

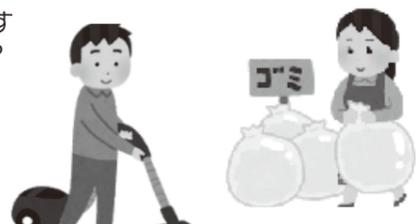
2日目… **2月21日(火)** 午前9時30分～正午

講義「春日市の見守り・生活支援の取り組み状況」  
修了証・サポーター登録

**場所** 社会福祉センター2階大会議室(昇町3-101)

**定員** 20名(申込み多数の場合は抽選とさせていただきます)

**お申し込み** 2月15日(水)までに電話かFAX、メールで住所、氏名、電話番号を伝えてください。



このサポーターになるには特に資格等は不要です

**お問い合わせ先**

春日市社会福祉協議会(ボランティアセンター)  
☎501-1136 FAX581-7258



★生活支援サポーターは有償の住民同士の助け合いの活動です★

この活動は、あくまで「お互い様のボランティア活動」の一環です。よって専門性や質を求めるなどはありません。ボランティアをしてもらいたい人とボランティアをやりたい人の相互のニーズがあって成り立つ活動です。

春日とともに半世紀

貸したい 買いたい 住みたい 売りたい

株式会社 **田島不動産**  
福岡県知事(15)第2442号

相談・査定は無料です!

お気軽にご相談ください(秘密厳守) ☎816-0807 春日市宝町3丁目3番地  
**☎092-581-0621** 株式会社 田島不動産

**ちくし法律事務所**  
CHIKUSHI LAW OFFICE

相談料(60分) **5,500円** (税込)

福岡県弁護士会所属  
所属弁護士 浦田 秀徳・他6名

**TEL.092-925-4119**

女性弁護士による 女性相談あり

筑紫野市二日市北1丁目1番5号 西鉄二日市駅西口より徒歩2分  
負債・交通事故・相続・労働(労働者側)の相談は初回無料

**受講無料!** **ひきこもりセミナー**

近年、長期間にわたり前に進めず立ち止まっている“ひきこもっている若者”が社会問題となっています。子どもが不登校・ひきこもりになったとき、ご両親までもが子どもの未来が失われたかのように悩み苦しむ、暗くなってしまうがちです。しかし現在では、ご両親が諦めなければ社会復帰できる可能性があります。ひきこもりだった若者たちが、どのようにして働く自信を取り戻したのか、解決に向けてのヒントとなるセミナーを開催します。

**日時** **3月12日(日)** 午後2時～午後4時30分

**内容** ○講演「ひきこもり・ニートの就労支援の実例」福岡わかもの就労支援プロジェクト代表理事 鳥巢正治氏  
○車座ミーティング(八おき塾卒業生)

**場所** 社会福祉センター2階大会議室(昇町3-101)

**定員** 30名(定員になり次第締切ります)

**共催**

八おき塾  
(一般社団法人 福岡わかもの就労支援プロジェクト)  
春日市社会福祉協議会

**お申し込み**

電話、FAX、メールにて名前、住所、電話番号を伝えてください。

**お問い合わせ先**

春日市社会福祉協議会  
☎581-7225 FAX 581-7258  
✉ fukushi@kasuga-shakyo.or.jp



**八おき塾(福岡わかもの就労支援プロジェクト)って?**

八おき塾では、ひきこもり・ニートの社会復帰(就労・就学)を支援しています。長期間ひきこもっている人、動きたいけど不安や恐怖でなかなか働けない人、進路や就職等の先が見えずに不安で自信がない人等、このような悩みを抱えている若者(18~39歳)を対象にコーチングにて支援しています。あなたも気軽な気持ちで相談に来てみませんか? 相談は無料、要予約。(月~金、祝日は除く)

※コーチングとは、対話によって相手の能力・自主性・行動力・可能性を引き出し、課題解決や目標達成を図るコミュニケーション技術です。

福岡市博多区東比恵2-7-33 西原ビル3階  
☎080-5456-6060(鳥巢正治)  
http://fukuoka-wakamono-pj.org/



**受講無料!** **在宅介護者支援事業**  
「介護を考える介護者のつどい」

「気持ちの切り替え 考えてみませんか?」  
介護疲れを感じている 介護をしている皆さん

在宅で介護をするということは、24時間365日休みのないものです。介護をする中で、不安になったり気持ちが落ち込むこともあると思いますが、気持ちを切り替えるにはポイントがあります。そのコツを知って、日々の介護に役立ててみませんか?

**講師** FIC福岡産業カウンセラーの会 山口達行氏

**日時** **2月25日(土)** 午後1時~3時  
(受付:午後0時30分~)

**場所** 社会福祉センター2階 大会議室(昇町3-101)

**定員** 50名(定員になり次第締め切ります)

**お申し込み** 電話かFAX、メールのいずれかで氏名、電話番号、来場方法を伝えてください。

◎駐車場に限りがあります。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

**お問い合わせ先**

春日市社会福祉協議会 福祉推進課  
地域福祉担当  
☎581-7225 FAX 581-7258  
✉ fukushi@kasuga-shakyo.or.jp



一人親家庭向け

**参加無料!**  
**親として知っておきたい**  
**教育にまつわるお金の豆知識!**  
~子どもの夢をかなえるために~

春日市母子寡婦福祉会では進学に必要なお金についての講座を開催します。聞きたいけど聞きづらい、知りたいけど知る機会がない...そんな進学等の費用や制度についてのお話を聞きに来ませんか?

**講師** 春日市母子寡婦福祉会会長 合原 佳登理氏

**日時** **2月18日(土)** 午後7時30分~9時

**場所** 社会福祉センター3階 中会議室(昇町3-101)

**お申し込み**

2月12日(日)までに電話かFAX、メールで氏名、電話番号を伝えてください。

**お問い合わせ先**

春日市社会福祉協議会 福祉推進課  
地域福祉担当  
☎581-7225 FAX 581-7258  
✉ fukushi@kasuga-shakyo.or.jp



脳がわらって、腸がよるこぶ

グッドライフ 健康講座

**「脳と腸と健康」を考える**

**日時** **3月8日(水)**  
13:30~15:00 \*10分まえまでに会場へお越しください

**会場** **クローバープラザ**  
5F セミナールームC  
春日市原町3丁目1-7

**要予約 参加無料**

お電話でお申し込みください。  
**☎092-753-7101**  
平日9:00~17:00(土日祝祭日を除く)

主催/(株)ビーアンドエス・コーポレーション  
福岡営業所  
〒810-0002 福岡市中央区西中洲12-33-12F

「新しい生活様式」を基本とした開催にしています。  
勧誘や製品販売は一切ありません。お気軽にご参加ください。

# 赤い羽根Q&A

しあわせ10月号の赤い羽根クイズのお八ガキで、小学生の子どもさんとお母さんよりご感想と赤い羽根共同募金についてご質問をいただきました。

「しあわせ」の添付チラシ(赤い羽根の絵画)は、子ども達の偉いお母さん様ばかりで、心で感銘を受けました。子どもと同様お母さんも頑張られて、嬉しい倍増です。  
①共同募金とは、はる赤い羽根の力で……? (4/2)

## なぜ赤い羽根共同募金は、赤い羽根を使うの?



共同募金はスイスの神父による運動がそもそもの始まりとされています。昔のヨーロッパでは勇敢な活動や良い行いをした人に、王様から赤い羽根を授けるという習慣があったようです。これがヒントとなり、アメリカの活動団体がお金を寄付してくれた人に赤い羽根を送り、その後、日本でも赤い羽根を使うようになりました。

日本の共同募金運動は、1947年に「国民たすけあい運動」として始まりました。「赤い羽根」をシンボルとして使うようになったのは、第2回目の運動からです。また、赤い羽根を「羽根」と表記するのは、鳥や昆虫の体から抜けた羽や羽を加工したもの、またそれに模したもので「羽」ではなく「羽根」と表記されています。

# 赤い羽根クイズ ~間違い探し~

下の2つのイラストには、間違いが7つあります。どこでしょうか?  
正解者の中から抽選で10名の方にクオカード(500円分)を差し上げます。



【応募方法】  
はがきに答え、住所、氏名、電話番号と「春日市の好きなところ」を書いてお送り下さい  
【締め切り】  
2月末(消印有効)  
【発表】  
4月号に掲載  
【応募先】  
〒816-0851  
春日市昇町3-101  
春日市社会福祉協議会  
「赤い羽根クイズ」係

# あたたかい善意に感謝いたします R4. 10.1~11.30 (順不同)

## 香典返し寄付金

- 高 壽一様 (千歳町) ……亡妻 高 道子様

- 行政書士 八年会 様
- 白水 理紀之助 様

- 春日好陶会 様
- 白水 光子 様

- 春日陶友会 様
- 保坂 牧子 様
- 匿名 2 件

## 物品寄付

- 筑紫遊技場組合 つかさ筑紫野店 様
- 筑紫遊技場組合 太宰府 栄 様
- 春日市民生委員児童委員連合協議会 様
- 下白水北地区自治会 様
- 石橋 壮児 様
- 高 壽一 様
- 那須 敬子 様
- 匿名 7 件

## 福祉会員御礼 10,000円以上の賛助会員、特別会員、法人5,000円以上の法人会員について掲載します。

- (医)マインド伊原春日クリニック 様
- 絆データシステム(株) 様
- ハヤトリフォーム 様
- (特非)子ども未来ネットワーク春日 様
- 岩城 和代 様
- 白水 信孝 様

# NEW 福祉会員協賛店が増えました!

会員さんだけの特典があります!



## エフプランノイチ 1/f HAIR SPACE

サービス特典 10%OFF

住所 春日市昇町4-23 ☎582-6424

詳細は、本会ホームページ [協賛店一覧](#) に掲載しております。協賛店としてご協力いただける店舗も随時募集中!!詳しくは社会福祉協議会へお問い合わせください。



# ボランティア掲示板



かすがボランティアセンターでは、次の件でボランティアを募集しています。活動やイベントの詳細、参加の申込はボランティアセンターにご連絡ください!また、この内容は1月10日現在の情報をもとに編集しています。内容に変更や締め切りが生じている場合がありますので、お問い合わせください。



お申し込み・お問い合わせ先

春日市社会福祉協議会 かすがボランティアセンター  
TEL 501-1136 FAX 581-7258  
Eメール kasuga-volo@aioros.ocn.ne.jp 月~土曜日(日・祝日は休み) 午前8時30分~午後5時

## もとも 楽器演奏で障がい者支援

内容 寝たがりの状態で、呼吸器を使用しながら生活している30代の男性です。音楽が大好きで、楽器の演奏を聴くのをとても楽しみにしています。1~2名で月1回楽器の演奏をしてくださる方を募集しています。

日時 火曜日(毎月1回) 午後3時から20~30分程度

※活動時は家族は不在で、看護師・ヘルパーさんと共に音楽を楽しみます。

場所 一の谷地区の男性の自宅 募集人数 1~2名

希望する楽器 オカリナ・ハーモニカ・ハンドベル・鉄琴・木琴・キーボードなど音色のやさしい楽器  
※ハンドベルとキーボードは男性宅にあります。



## もとも Kids-Kitchenでの支援

内容 「有機農法」で作られた野菜を中心に使い、子どもたち(4歳~小学4年生)が自ら料理をし、みんなで一緒に食事をすることで、自立すること、食べること、異年齢との関わり方や、自分自身の体についても学んでいけるようなプログラムを組み、活動に取り組んでいます。子どもの見守りや調理の補助などをお願いします。子どもの食事や、発達障がいの子どもの理解や関心のある方、一緒に活動しませんか!

日時 毎月第1土曜日 午前9時50分~午後0時30分

場所 ワークショップKinchan-hakko(岡本地区)

募集対象 高校生以上

持ち物 三角巾、エプロン、スリッパ、水分補給用飲み物



## もとも 生活おたすげ「たんぼぼの会」会員募集

ボランティアグループ「生活おたすげ たんぼぼの会」では、一緒に活動してくれる会員を募集しています。たんぼぼの会では次の2つの活動を行っています。

### 生活おたすげボランティア

依頼者の自宅を訪問し、家事支援を中心に日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いをしています。

内容 部屋の掃除、買い物、洗濯などのお手伝い  
この活動は有償のボランティアです。

### 仲間作り、健康、交流を目的に「たんぼぼカフェ」を開催

日時 毎月第2・4木曜日 午後1時~4時

場所 社会福祉センター1階 ボランティアルーム(昇町3-101)

内容 来場者のお話し相手などをお願いします!

※どちらかだけの参加でもかまいません。お待ちしております! 「たんぼぼの会」で一緒に活動しませんか!

## します 布おもちゃ・布絵本貸し出します

内容 ボランティアグループ「イルカくらぶ」は、布で作った絵本・おもちゃ・エプロンシアターなどを制作し、貸し出しをしています。あたたかみのある布のおもちゃで遊んでみませんか。団体でも個人でも利用できます。

### 《貸し出し》

日時 毎週月曜日 午前10時~正午(返却も同じ曜日・時間帯で)

場所 社会福祉センター1階 ボランティアルーム(昇町3-101)

貸出期間 個人…1週間 団体…2週間

貸出点数 個人…3点 団体…5点

### お申し込み方法

・直接、上記日時に来所する  
・住所、氏名、電話番号、借りたい日と作品名を記入してFAX501-0071(小島)に申し込む



# 各種相談窓口

悩みごと相談 (カウンセラーによる悩み相談)

相談日 第1~4土曜日  
時間 午後2時~5時(受付4時30分まで)  
場所 社会福祉センター4階

心配ごと相談 (日常生活上の困りごとの相談)

相談日 毎週水曜日  
時間 午後1時~4時(受付3時30分まで)  
場所 社会福祉センター4階

ナギの木苑出張相談 3月3日(金) 午後1時~3時 場所: ナギの木苑(豊見ヶ丘1-7-1) ※別途入館料が必要

お問い合わせ先: 春日市社会福祉協議会 ☎581-7225

## 春日市権利擁護総合相談窓口

(成年後見制度や高齢者等の権利擁護の相談)

相談日 月~金曜日 時間 午前9時~午後5時(祝日・年末年始を除く)

お問い合わせ先 ☎201-8977(社会福祉協議会内)

## 子ども一時預かり事業

# おおきくな~れ! 初回無料!

日時 第2・4金曜日(祝日は休み)

時間 午前9時30分~正午

場所 社会福祉センター2階別館

利用料 1,000円

対象 満6ヶ月から小学校就学前まで(福祉会員加入が条件)

お申し込み・お問い合わせ先 ※事前に利用者登録が必要

春日市社会福祉協議会 事業福祉課 事業総務担当 ☎581-7225

# 「それって大人の発達障がいかも」

～正しい理解と上手な向き合い方～

講師：福岡県発達障がい者(児)支援センター Life センター長 林智香子氏

お気軽にご相談ください

11月7日に開催した市民福祉講座が大変好評でしたので、その内容の一部をご紹介します。「大人の発達障がい」について正しい知識を持ち、生きづらさを感じている人たちへの理解を広げていきましょう。

福岡県発達障がい者(児)支援センター **Life**  
春日市原町3-1-7 ☎558-1741

## 「大人の発達障がい」にはどんな特性がありますか？

- ・場の空気が読めない
- ・忘れ物やミスが多い
- ・衝動的に行動してしまう
- ・整理整頓ができない



- ・人とのコミュニケーションがうまくいかない
- ・仕事や家事の段取りが悪い
- ・思うようにいかないとパニックになる
- ・アルバイトや仕事が長続きしない

「私も当てはまる!」という人は多いのではないのでしょうか? こうした問題が時々ではなく**頻繁に起きてくる**、そのことによって**生活に支障をきたしている**場合は「発達障がい」の可能性がります。また、こうした傾向が**子どもの頃からずっとあった**ということも、発達障がいなのか、そうでないのかを見極めるポイントになります。

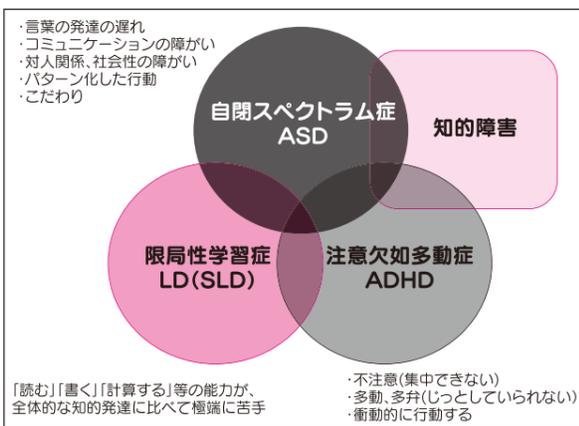
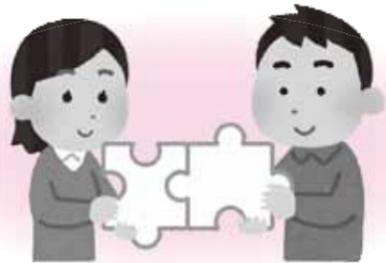
## 「発達障がい」の原因は何ですか? 大人になって起こるのですか?

「発達障がい」は**脳の機能障がい**であり、大人になって表れるわけではなく**生まれ持ったその人の特性**です。見方、感じ方、理解の仕方に違いがあり、親の育て方や環境が原因ではありません。子どもの頃は周囲の環境や人間関係によってカバーされて気づかない場合もあります。大学生や社会人になると勉強や仕事、人間関係が複雑になり、それまで潜在的にあった特性が一気に浮かび上がり、**社会生活に支障をきたす**ということが考えられます。



## 「発達障がい」にはどんな種類がありますか?

行動や認知の特徴によって右の図の○の3つに分類されます。人によっては複数の特性をあわせ持つ場合もあります。最近、診断名が変わり「**障害**」から「**症状**」と表されるようになりました。



## 「発達障がいかも?」という人との上手な向き合い方は?

生活する中で生きづらさを感じている、困っているのは本人です。まずは**特性があることを理解すること**、ありのままを受け止めることが大切です。人によって様々な特性があり、得意なことや苦手なこととも違います。ちょっとした声掛けや配慮、工夫をするだけでできるようになることもたくさんあります。例えば、予定や手順を写真や文字で分かりやすく視覚(見える)化したり、曖昧な表現を避けて具体的に分かりやすい表現にするなど。苦手なことを完璧に克服することは難しいかもしれませんが、意識を変えたり、生活を工夫することによって、「障がい」を「凸凹」の範囲に収めることができる可能性は十分にあります。

**みんなちがってみんないい! 少数派を理解してそして味方になってください**

参考: 講師資料、NHK福祉情報サイト「ハートネット」 <https://www.nhk.or.jp/heart-net>

# 生活支援コーディネーターを知っていますか?

～高齢者等の生活を支える仕組みづくり～



**少子高齢社会**という言葉をよく耳にしますが、これは高齢者の数が増え、それを支える世代が減少していることを指し、この状況はしばらく続くとされています。現在、日本の高齢化率は28.9%(春日市は22.8%)ですが、約15年後には33%を越え、2人で1人の高齢者を支えなければなりません。

皆さんは医療や介護など、さまざまな支援が必要となったとき、どのような環境で過ごしたいですか? 医療や介護などの支援が必要となっても、住み慣れた環境で暮らし続けられるよう、地域の助け合いを発掘したり、新たな仕組みを住民の皆さんと共に考えていくことが**生活支援コーディネーター**の役割です。

※春日市からの委託で、春日市社会福祉協議会に配置されています。

## どんなことをしているの?



### 共に考える

地域の皆さんと一緒に地域のお困りごと等はないかを話し合い、その解決策や「地域にあったらいいな」と思う活動を、その地域で暮らす人や企業、関係団体、市役所と一緒に考えていきます。

### 共に創る

地域にどんな活動やサービス等があるのかを調べ、その地域の特性や魅力を活かしながら、より住みやすい地域にするために必要な活動を、住民の皆さんと一緒に創っていきます。



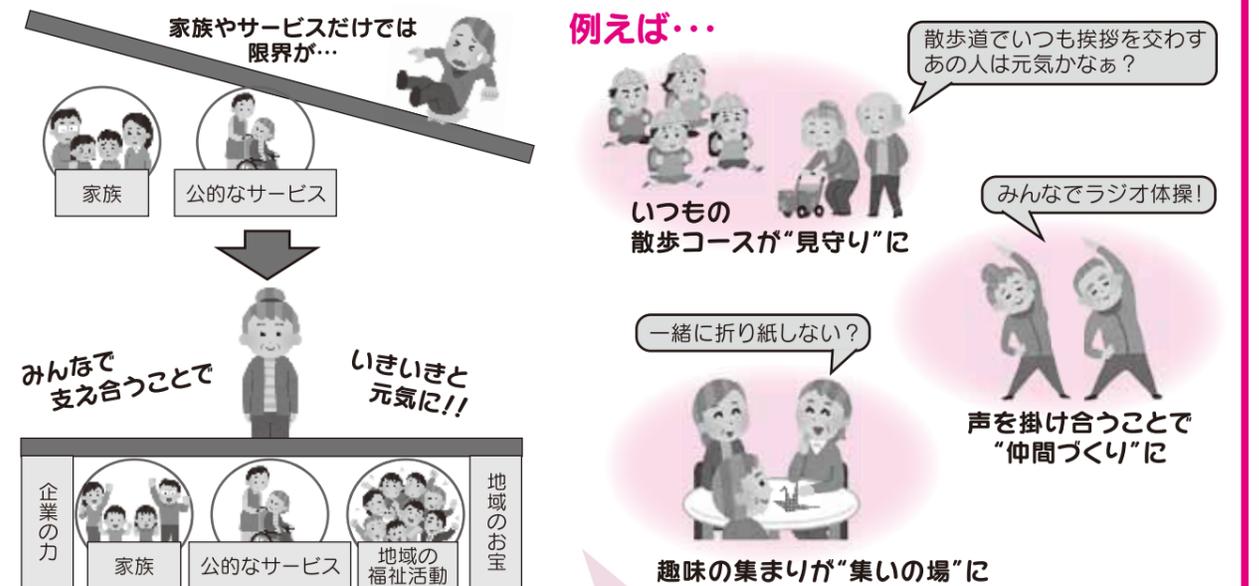
移動販売の様子

### 具体的には…

- 「近くに買い物ができる場所がない」→近くの公民館に移動販売を呼ぼう! 協力してくれるお店はないかな?
- 「高い所の電球の交換ができない」→ご近所にちょっと手伝ってくれる人はいないかな?
- 「重たいものが持てずゴミ出しができない」→他にも困っている人がいるかも…

## 困りごとの解決のためには! “地域のお宝”も大切です

高齢者等がより元気に、いきいきと過ごせる環境をつかっていくためには、自らが積極的に社会参加をすることに加え、周囲のサポートも必要です。介護保険サービスなどの公的なサービスに加えて、地域の福祉活動、ご近所同士のつながりや助け合い、企業による貢献活動などが重なり合うことが大切です。



“住民同士の助け合い”は特別なことではなく、生活の延長線上の何気ないことが自然と助け合いになっていることもあります。例えば、いつも散歩しているコースが、子どもの登下校や高齢者の見守りとなる、気の合う人同士で集まるのが仲間づくりになるなど、こうした取り組みは“**地域のお宝**”と言えます。

こうした“**地域のお宝**”は地域のつながりを深め、高齢者だけではなく、誰もが住みやすい地域をつかっていくための大切な要素になっています。

これから、皆さんとともに地域のお宝をはぐくみ、地域全体にその輪を広げていきたいと考えています。

こんな助け合いの取組があるよ!  
こんなことがやってみたい!  
こんなことができるよ! など…  
お気軽にご連絡ください!



【お問い合わせ先】  
春日市社会福祉協議会 福祉推進課  
生活支援コーディネーター(洲上)  
☎581-7225 FAX 581-7258